



「都城に謝謝(シェシェ)！」

～都城市中国国際交流員 銭 慧文(セン ケイブン)さんによる離任のご挨拶～

皆さん、こんにちは！
15代目中国国際交流員の銭です。とても名残惜しい気持ちで、この文章を書きました。中国には「天下没有不散之筵席」という俗語があります。日本語に訳せば、「この世には終わらない宴はない。」宴、つまり、どんな楽しい時間もいつか終わってしまうという意味です。縁というものによって人々が出会って、そしていつか、別れの時がやってきます。2023年4月をもって、私は都城での国際交流員としての5年間の任期が満了となります。都城の皆様、5年間本当にありがとうございました。謝謝(シェシェ)！



都城にいる5年間は長かったようで、とても短く感じます。ぜひこの場を借りて、お世話になっていた方々にお礼を申し上げます。翻訳、通訳以外ほぼ未経験の仕事でしたが、職場の上司と同僚や関係者の皆様に支えられながら、また先輩を見習いながら、徐々にやりこなしてきました。学校の生徒さんと先生をはじめ、国際理解講座や中国語講座、交流イベントに積極的に参加して下さったすべての皆様、直接お会いできてなくても、ラジオ番組を聞いてくださった皆様、市の広報やMIA・NEWSを読んでくださった皆様、たくさんの交流ができたことを一生の誇りに思います。忘れがたい瞬間が多々あります。「サンタ」になりきって園児たちと手を

繋いでゲームをした時、学校の体育館や教室で全力でクイズに答えてくれた子供たちの元気な笑顔、「重慶のことが知れてよかった。中国に行ってみよう。」といった感想文をもらった時や、ラジオ番組が終わってからリスナーさんから「興味深いテーマですね。」といったメールをいただいた時、近所の方や学校の先生たちが「広報読んだよ。」と言ってくれた時の喜び、中国語講座や料理教室で熱心に挑戦する皆様の姿……これらすべてが貴重な思い出として心に刻まれました。また家族のように接してくれた親切なお父さんお母さん、いつも応援してくださる友達、都城の優しい方々に心から感謝いたします。



4月で、国際交流員を卒業しますが、今後も都城市と重慶市の友好交流、そして日本と中国の友好交流について少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思っています。都城で得た貴重な経験を活かして、今後の人生を歩んでいきたいと思っています。最後になりますが、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げて、お別れの挨拶とさせていただきます。感謝しきれないほど大変お世話になり、本当にありがとうございました。またお会いできる日を楽しみにしています。



「日本でのインターンシップ経験、常に前向きに前進」

～MIA会員 インドネシア出身 オトニエルさんの記事を紹介します～

2004年から2023年まで、私は日本との交流を続けています。

メダン州ポリテクニックの大学を卒業し、タイガーエビの養殖場で1年間働き、その後、電気科教師を募集していたので、2002年から2003年まで、高校で高圧電力の教師をしていました。



2年間教師をした後、日本での実習に関する情報を見つけました。2003年からメダン労働省で勉強をして、選考を受け、2004年7月に日本へ行くことになりました。埼玉県で1カ月間勉強した後、実習をしました。2007年にインドネシアへ戻り、NPCBバタムという日系企業の空気圧ロボットメンテナンス部門で働きました。

NPCBバタムで仕事をしながら、学士号を取得しました。その間に日本での介護職募集を見つけ、勉強しながら全ての過程を経て、2011年から2015年まで徳島県名東(みょうと

う)郡佐那河内(さなごうち)の高齢者施設で介護の実習生となりました。

佐那河内では日本人の友達やインドネシア友好協会のグループと一緒に、地元の小中学校や地域団体にインドネシアを紹介する活動を行っていました。また、たくさんの素敵な人たちに会い、有機栽培の土の作り方や健康的な料理の作り方、日本語を上手に学べる場所など、前向きな活動によく誘われました。

今、私は日本の仕事を学ぶことができ、いつか私がインドネシアと日本の架け橋になれるよう、自分を磨き続けています。

4年間の介護を終え、2015年にインドネシアに帰国し、地元LPK Sakuraという日本語研修センターを立ち上げました。当時住んでいたところには日本人との関係があり、九州



一番左がオトニエルさん。友好協会のメンバーと

～前ページより続く～

電力が出資しているPT SOLという会社がありました。また、住んでいたところには政府とJICAのプロジェクトがあって、私はJICAで2年間翻訳の仕事をしていました。

2020年、これまでの良好な関係のおかげで、私は翻訳者として東京の組合で働くことになりました。特に、三菱ふそうトラック・バス株式会社の実習生のお世話を約2年間しました。その後、私は病気だった母の世話をするためインドネシアに戻りました。

2022年2月、宮崎で翻訳の仕事に復帰し、現在に至ります。私は宮崎で多くのインドネシア人を見つけ、日本人との相互理解のために日本友好協会という団体を設立しました。皆、好意的に受け止めてくれています。私は、都城国際交流協会で、これまでの私の日本での経験について話す機会がありました。

都城のこの素晴らしい地域で、日本友好協会を発展させたいと思っています。ここの人々はとても親切で、私たちを温かく迎えてくれ、盆地まつりなど、様々なイベントに参加する機会をいただきました。

私たちはインドネシアをもっと広く日本に紹介すると同時に、私たちの国の若者の向上に協力したいと思っています。

また、日本の方々が私たちが喜んで助けてくださると嬉しいです。インドネシアの若者が日本人のような並外れた精神性と人格を持つような成長を望んでいます。

私たちの仕事に支障がない限り、もし良ければ、素晴らしい日本人の皆さんと一緒に活動したいです。特に、私たちは学校、地域コミュニティ、行政機関にインドネシアを紹介する準備をしています。75人以上の仲間がWhatsApp(ワッツアップ:メッセージや通話アプリ)グループに集まっています。

インドネシアと日本の架け橋になることが私たちの夢です。私たちは、畜産業、農業、介護、漁業、建設業など様々な職業に就いています。私たち全員が、日本の技術や、世界に誇る誠実さ、規律正しさといった日本人の労働倫理を学び続け、いつか日本から得た知識で成功する人材になると信じています。

私がこの記事を書いたことで、日本友好協会や、私たちインドネシアのことを気にかけてくれる方が増えることを願っています。

石の上にも三年の決意があります。

インドネシアにご興味がある方がいらっしゃれば、ぜひ、nihonyuukoukyoukai@gmail.com までご連絡ください。



「忙しい春」

～都市モンゴル国際交流員 ヒシゲさんによるモンゴル紹介～

モンゴルでは3月になると、各地で雪解け水が流れる音と共に、草花の芽が出て、小鳥たちが鳴き始めます。これは、厳しい冬が終わって暖かい春が訪れる嬉しい知らせで、無事に冬を越した遊牧民たちが、ほっとする季節でもあります。一方、草原牧畜地方では家畜(馬、牛、らくだ、羊、山羊)の出産を迎える多忙な毎日が始まります。



今年是全国で23～25千万頭の家畜が生まれる予定
出典:モンゴルの食糧・農牧業・軽工業省

家畜がいつ出産するか分からないので、朝昼夜関係なく、何回も家畜小屋を巡回して様子を見ながら無事に出産させるのが一番重要な仕事です。モンゴルの春は風が強くて天気も変わりやすいため、生まれたばかりの家畜の赤ちゃんが凍死するリスクもあります。特に、小型家畜には世話が必要です。仔羊と仔山羊をフェルト製の暖かい袋に入れて、ゲル(伝統的な



防寒対策を施した仔ラクダ

住居)まで持って行きます。または、くるくるとした分厚くて細かい巻き毛で全身を覆います。遊牧民の仕事は次々とあって、一日が足りないくらいです。生まれたばかりの家畜の赤ちゃんにお母さんの乳を一頭ずつ飲ませてから、お母さんを群と一緒に放牧地に向かわせます。家畜の赤ちゃんたちは遊牧民の助けなしに食べたり、歩いたりすることができるまでは暖かい小屋に残されます。

都会の人々も「忙しい春」に力を合わせます。私が子供の時、ほとんどの学校は自分たちで作った手作りのネメネー(家畜の赤ちゃんの全身を覆う分厚くて細かい巻き毛)を遊牧民に贈る習慣がありましたが、最近は遊牧民の定住化により、小屋がレンガ等の暖かい素材で造られているので、ネメネーを使わなくなりました。遊牧民たちの努力のおかげで、都会の我々はいつも新鮮で美味しい肉を頂いて、元気に生きることができます。日本人はお米を作った人に感謝しながら食事をするように、我々モンゴル人も遊牧民に感謝いっぱい5種類の家畜の肉をいただいています。



生まれたばかりの仔羊を抱くヒシゲさん



オージーバイツ

Aussie Bites (オーストラリアを、ひとかじり!)

～オーストラリア紹介～

MIA事務局の迫田です。

元オーストラリア国際交流員のダリン・ハミルトンさんが都城市遊びに来てくださいました。その時、お土産にいただいたのが、写真にある「ユーカリキャンディ」です。

コアラが食べる、あのユーカリが入っているキャンディ?!。ユーカリってコアラしか分解できない成分が入っているんじゃない

なかった?!と思ったので、ネットで調べてみました。

ユーカリは、抗炎症作用が高いようです。私の天敵、花粉症にも効果がありそうなので、期待して食べたいと思います。



協会情報

◆都城国際交流協会の一般社団法人化について

日頃より会員関係者の皆様にはご協力いただきましてありがとうございます。

都城国際交流協会は、現在、法人化のための事務を進めております。詳細につきましては、法務局への登記終了後、ご案内いたします。

尚、名称は一般社団法人都城国際交流協会となる予定です。現協会の解散総会・一般社団法人都城国際交流協会設立総会に関しましては5、6月頃を予定しておりますので、追ってご案内いたします。今後ともよろしくお願いいたします。

問合せ： 都城国際交流協会

TEL:0986-23-2295

E-mail: mia@btvm.ne.jp

◆誠に勝手ながら、MIA NEWS4月号はお休みいたします。

◆国際理解講座「中国料理教室」参加者募集！

中国国際交流員の銭慧文さんが中国料理の作り方を紹介します。講座は日本語で行われます。



日時： 令和5年3月18日(土)

10:00～13:00

場所： 都城市コミュニティセンター

参加料： MIA会員 800円

会員以外の方 1,300円

持参品： エプロン・筆記具・マスク、※試食はありませんので持ち帰り用の容器を忘れずにお持ちください。

定員： 10名(先着順・会員優先)

メニュー： 豆板醤(トウバンジャン)

問合せ・申込み： 都城国際交流協会

TEL:0986-23-2295

E-mail: mia@btvm.ne.jp



◆国際理解講座「ベトナム料理教室」参加者募集！

ベトナム出身のダイ・チャンさんがベトナム料理の作り方を紹介します。12月に開催した料理教室と同じメニューですが、会場が異なります。講座は日本語で行われます。



日時： 令和5年3月25日(土)

10:00～13:00

場所： 沖水地区公民館⇒

参加料： MIA会員 800円

会員以外の方 1,300円

持参品： エプロン・筆記具・マスク

定員： 6名(先着順・前回参加されていない方を優先させていただきます。)

メニュー： バインセオ

問合せ・申込み： 都城国際交流協会

TEL:0986-23-2295

E-mail: mia@btvm.ne.jp



編集部より

♪春一番が掃除したてのサツシの窓にほこりの渦を踊らせてます。♪
♪机、本箱運び出された荷物のあとは、畳の色がそこだけ若いわ。♪
この歌詞は、40数年前、私が中学生時代に「普通の女の子に戻ります。」と引退したキャンディーズの最後の曲「微笑みがえし」の1フレーズです。この時期になると知らず知らずのうちに、何回となく口ずさんでいます。別れの曲なのですが、前向きな明るい感じがして大好きな曲の一つです。これから進学、就職、転職等を迎えられる方、是非一度聞いてみてください。
[福重]

皆さん、こんにちは。日本全国ぶらり旅コメント。
今回は「京都府」です。何度か清水寺を訪れたことがあります。そこで【戒壇(かいだん)めぐり】というものを体験しました。清水寺三重塔の近くの「随求堂(ずいぐどう)」の本尊である大随求菩薩のお腹の中をめぐるといいます。中は真っ暗で何も見えません…手すり(手綱?)を辿りながら上ったり下ったり、曲がったりと進んでいくと出口付近にある僅かな光に気がきます。とても神秘的で安堵したのを覚えています。心休まるひと時でしたあ〜く(° Ⅰ°)
[西畑]

先日、銭さんと高校に訪問した際、中国製のとある化粧品メーカーの話聞き、気になって調べてみました。調べてみると、それぞれパッケージは煌びやかで豪華な見た目であったり、口紅やアイシャドウ自体とても精巧な彫刻がされているものがあつたりと、使うのがもったいないと感じるような、そんな化粧品用品たちがたくさん出てきました。今まで化粧品はドラッグストアとか、手軽に買うことができるものばかり使っていましたが、今度買い替えるときはちょっと奮発してみようかな、と目論んでいます…!
[川内]

実家上海の天気と気温は本当に都城とあんまり変わらなく、一つだけ違うと思ったところは、都城では朝晩の気温がかなり低くなるため、昼と夜の温度差が大きいということ。急に冷えてくると、体調も崩しやすくなると言われてます。中国では春分以降はよく髪を梳くことが、体調を整えるのに適していると言われてます。その時期は自然の陽気が盛んになり、人体の陽気も体の上部に向かい、頭から出ていくという特徴があるため、髪をよく梳くと、気血を全身へ運ぶ通路である経絡の通りをよくし、頭や耳、目の調子を整え、風邪、頭痛の予防にもなるそうです。
[銭]

“A cowboy rode into town on Friday, stayed three nights, then left on Friday. How?” 今月は英語のなぞなぞです!私は子供の頃からこういうなぞなぞが好きで、誕生日やクリスマス・プレゼントとして「なぞなぞ集」みたいな本を貰うことが多かったです。今回は比較的簡単なものですが、毎月少しずつレベルアップし、皆さんに面白いなぞなぞを紹介したいと思います!では、今回のなぞなぞを解いて、次回からのシリーズをお楽しみに!
[ジョージ]

2月3日から3泊4日で北海道の雪まつりに行ってきました。確かに、雪国でした。雪まつり会場の作品がとても感動的だったので、午前と午後2回もまわって、じっくり楽しめました。私のふるさとウランバトルは雪が降りますが、北海道ほど雪が積もりません。北海道はどこを見ても雪!!!そして、初のジンギスカンも王様の気分でおしくいただきました。街並みもウランバトルとよく似ていて、母国に戻ったような身近な感じがしました。
[ヒシゲ]

中国地方の大きな都市で、夜、所用がすんで居酒屋のカウンターに座りました。店員さんが差し出したのは、おしぼりとORコードが印刷された小さな紙。「これをスマートフォンで読み込んで注文をしてください」と。店内を見ると、お品書きは一切ありません。スマートフォンを操作すると、写真入りでメニューが表示されます。店員さんとやり取りなしで、ドリンク、食べ物が届きます。ITはどんどん進んでいます。この先ついてゆけるでしょうか。
[藤元]

娘は、私が国際交流の仕事をしていることを分かり始めています。先日、通っている保育園で都城市の国際交流員との国際交流会がありました。その夜、「ママ、私も国際交流のお仕事がしたい」と言ってくれました。将来の夢がよく変わるので、その日の気分ですったのですが、心の片隅にでもそういう気持ちを持ってくれたことが嬉しい夜でした。
[迫田]

雪が舞うほど厳しい寒さの冬が終わったかと思えば、あっという間に春の陽気になってきましたね。日本で春といえば出会いと別れの季節ですが、私の身近なところでも卒業式や入学式、離任や就任などが控えています。春の陽気とは裏腹に、心が陽気になるにはもう少し時間がかかりそうです☹
[穴井]